

さんぽ+ごみ回収報告書

精神疾患がある人もない人もみんな一緒に町づくり 散歩しながらごみを拾ってきた記録



回収した場所

あじさいロード、袋のため池公園、飯岡海岸、椎名内海岸、飯岡灯台、季楽里道の駅、川口沼公園等



ごみを拾う効果

町がきれいになると気分もよくなります。そして多くの人のつながりも生まれます。



協力の輪を拡げていきたい

ごみを拾っていると多くの人が関心を寄せて声をかけてくれます。私たちの姿をみて一歩踏み出すきっかけになれば嬉しいです。

SDGs目標11「住み続けられるまちづくり」

2030年までに、大気の水質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。

旭中央病院のデイケアでは、2021年5月～2022年3月まで活動の一環として旭市内のごみ回収を行ってきました。心の健康が不調になり生活のしずらさを経験している方々が、そうであっても自分達のできる事はまだまだたくさんあるのではないかとSDGs（持続可能な開発目標）に則った活動をしています。私たちは散歩をしながら自分達の健康を向上させ、ついでに町もきれいにしておくと町のごみ拾いに取り組んでいます。一人ひとりの力は小さいですが、みんなで協力すれば大きな力になるかもしれない。精神疾患がある人もない人も共に活動し住みやすい町づくりに貢献していきたいと思っています。

1

14回

ごみを拾った回数

2

192名

延参加人数

3

178KG

回収したゴミの量